

菊陽町に電気自動車「e-NV200」を無償貸与 日産自動車株式会社と車両出発式を開催

町は3月29日、日産自動車から電気自動車を無償で借り受け、菊陽町役場で出発式を開催しました。貸与期間は3年で、移送支援が必要な高齢者や障がい者を送迎する菊陽町社会福祉協議会に配備されます。古荘雅教専務取締役は「人も電気も運べる。いろんな活用方法を試してほしい」とあいさつ。後藤三雄町長は「高齢者の移送支援、ボランティアの送迎、災害時対応などに十分活用したい」と期待を込めました。



(左から)佐藤彌町社会福祉協議会副会長、後藤町長、古荘専務取締役

元気に第一歩

尚綱大学短期大学部附属こども園入園式

尚綱大学短期大学部附属こども園の入園式が4月13日、同園で行われ、124人の子どもたちが集団生活の第一歩を踏み出しました。同園は認定こども園で、教育と保育を一体的に行う施設。子育て支援の場も用意されています。式では、在園児代表が「おめでとう。明日から仲良く遊びましょうね」とお祝いし、『きょうからおともだち』と『尚綱こども園のうた』を元気いっぱいに歌って新入園児を歓迎しました。



「チューリップ」を歌う保育士と新入園児

期待を胸に 町立小中学校入学式

うらかな春の日差しの中、町立小中学校入学式が4月11日、各校で行われ、964人の新入生が入学しました。

菊陽西小学校では171人の児童が入学し、名前を呼ばれると大きな声で返事をしていました。小学6年生が遠足や運動会、見学旅行などの様子を劇で披露すると、会場が笑いに包まれました。志賀壮竜くんは「友達できたよ。算数やサッカーを頑張りたい」と笑顔で話しました。

菊陽中学校では163人の生徒が入学。新入生代表の古荘祐実さん



1



1新入生代表で堂々とこれからの学校生活への抱負を述べる古荘祐実さん2夢と希望いっぱいの新1年生3西小学校6年生の劇を見て笑顔になる新1年生

学校名	入学者数
菊陽中部小学校	140人
菊陽南小学校	14人
菊陽北小学校	57人
菊陽西小学校	171人
武蔵ヶ丘小学校	57人
武蔵ヶ丘北小学校	70人
菊陽中学校	163人
武蔵ヶ丘中学校	292人

は「仲間たちと力を合わせて困難を乗り越え、楽しい思い出をたくさんつくりたい。感謝の気持ちを忘れず、いろんなことに挑戦し、悔いのない学校生活していきたい」とこれらの学校生活への期待に胸を膨らませました。



緑いっぱい町へ

第41回トヨペットふれあいグリーンキャンペーン

熊本トヨペット(株)(齋藤文夫代表取締役)が4月7日、第41回ふれあいグリーンキャンペーンでふくしま桜(ソメイヨシノ)の苗木10本と、環境改善植物・チェリーセージなどの花の苗7種類1,200鉢を町へ寄贈しました。2016ミス・インターナショナル日本代表で「緑の大使」の山形純菜さんは国土緑化推進機構からのメッセージを読み上げ、目録と1鉢を後藤三雄町長へ手渡しました。後藤町長は「贈られた苗木は杉並木公園に植え、大切に育てます」と感謝しました。



桜と花の苗を贈った齋藤文夫社長(左)と山形純菜さん(中央)

子どもたちの安全を願って

「くまモンの飛び出し注意の看板」寄贈

社会奉仕活動をしている肥後大津ロータリークラブが3月30日、くまモンの飛び出し注意の看板計6枚を町PTA連絡協議会に寄贈しました。贈られた看板は町内の各小学校に置かれます。山口治利代表は「年々交通量が増えている菊陽町の子どもたちの安全な登下校を願う気持ちを込めています。運転者も安全運転の意識をさらに高めなければいけませんね」と話しました。赤峰洋次教育長は「子どもたちが事故に遭わないよう、大事に使います」とほほ笑みました。



看板を寄贈した肥後大津ロータリークラブの皆さん

400年の偉業の解明にせまる

馬場楠井手の鼻ぐり調査報告会

馬場楠井手の鼻ぐり調査報告会が3月28日、南部町民センターで開催され、約60人が参加しました。町指定文化財「馬場楠井手の鼻ぐり」について、平成23年度～27年度に調査研究を実施。報告会では、調査で判明した点などを5人の各分野の専門家が報告しました。熊本大学大学院自然科学研究科の山尾敏孝教授は「今回の調査で分かったこともあるが、未解明の部分もある。今回の調査を基礎に、さらに調べていく必要がある」と話しました。



「馬場楠井手の鼻ぐり」の調査結果を報告する山尾敏孝教授

地域の課題解決へ

「東京エレクトロン九州NPO等支援事業」助成金贈呈式

2015年度東京エレクトロン九州NPO等支援事業助成金の贈呈式が3月25日、同社の合志事業所で行われました。本町からは、CO₂削減を目的に活動している「グリーン(ゴーヤ)カーテン菊陽」と、家事に育児、仕事に頑張る母親が楽しめるイベントを行う子育てサークル「貴婦人会」が受贈者として出席。同社の伊吹方志執行役員は「今後も地域に根差した活動の支援をしていきたい。今回の助成が地域の課題解決への一助となったらうれしい」と期待を込めました。



地域の課題解決へ向けて活動するNPO団体の皆さん

相互の連携と協調を図る

菊陽町地域婦人会総会

菊陽町地域婦人会総会(岩根祐美子会長)が4月9日、中央公民館で行われました。婦人会の会員は総数160人。婦人会執行部が前年度事業や決算を報告し、平成28年度の事業計画や予算が承認されました。今年度は役員改選も行われ、新会長に酒井恵さんが就任しました。新会長の酒井さんは「皆さんと協力しながら頑張りたい」と意気込みを話しました。総会終了後は、南米音楽グループ・ケナクンパが楽器ケーナで軽快に演奏し、同会員は楽しい時間を過ごしました。



「コンドルは飛んでいく」を参加者全員で歌いました

みんなの“よりどころ”

ほっとステーション武蔵ヶ丘

武蔵ヶ丘団地の一角にある町社会福祉協議会の「ほっとステーション武蔵ヶ丘」。やすらぎハウス、キッチンライフ北岡、キッチンダーやに加えて、4月9日、「よりどころ」がオープンしました。当日は400円の日替わりランチや弁当の販売の他、フリーマーケットやみそにだしと具材を混ぜて団子にした「みそまる」作り体験も。近くに住む高齢者は「一日中おっても楽しい。気軽に行けるやすらぎの場所たいね。こぎゃんとこなかばい」と笑顔で話しました。



みそまる作りを体験する子どもたち

たすきと絆をつなぐ

第39回子ども会駅伝大会

第39回菊陽町子ども会駅伝大会が3月11日、菊陽杉並木公園ふれあい広場で開催されました。開式前にアトラクションとして菊陽武蔵剣豪太鼓が演奏。参加者は太鼓の力強い音に感激していました。

今回の大会では、町内各地区の子ども会から総勢12チームが参加。公園内を周回する12区間10キロのコースで競いました。会場では、息を切らしながらも一生懸命走る子どもたちに、応援に駆けつけた保護者や地域の人々がたくさん声援をかけていました。

規定の部では沖野子ども会と緑陽台子ども会が大接戦。大会初の同着ゴールとなり、規定の部優勝が2チームになりました。出場した子どもたちは「きつかったけど走りきれて嬉しかったです。来年も出場したいです」と話しました。

- 【規定】優勝 沖野子ども会・緑陽台子ども会
- 第3位 緑ヶ丘子ども会
- 【オープン】優勝 南方子ども会
- 準優勝 大堀木子ども会
- 第3位 上津久礼子ども会



規定の部優勝「沖野子ども会」



規定の部優勝「緑陽台子ども会」